

おー!! 柏陽

北海道北見柏陽高等学校 懇親会
かしわ会東京支部 2017 年 8 月号
発行日 2017 年 8 月 25 日
発行者 北海道北見柏陽高等学校同窓会 東京支部
椎名孝典
神奈川相模原市中央区並木 3-12-13

二〇一六年度総会懇親会

会場も新たに開かれる

2016 年 10 月 2 日
アルカディア市ヶ谷
(私学会館)

2016 年度のかしわ会東京支部総会・懇親会は会場を市ヶ谷の私学会館に移して開催されました。

総会は、校歌斉唱に始まり椎名新支部長、来賓のかしわ会本部升川会長、第一期生の長谷川様の挨拶のあと、当期役員より 2015 年度の活動・会計報告がなされ、満場一致で承認されました。



いまだ矍鑠 長谷川様

で盛り上がり、第三応援歌、一本締めで開き、次回の再会を約束して散会しました。

◆◆◆◆◆

楽しい同窓交流の場に

かしわ会東京支部長 椎名孝典

2017 年度 かしわ会東京支部の総会・懇親会を昨年と同じ「アルカディア市ヶ谷」(私学会館)を会場として開催する運びとなりました。

一人でも多くの同窓生の皆様にご参加いただけるよう、今回から開催時間を昼の時間帯に変更させていただきました。また、ふるさと北見や母校柏陽の様子を事前に知っていただき、当支部の総会・懇親会がより身近な語らいの場となるように会報の最新版を同封致します。

年に一度の同窓生の交流の場です。多感であった高校生活を思い出しながら楽しい

続いて開かれた懇親会では、乾杯のあと、古賀恵美子さんの熱唱、恒例の抽選会

ひと時を過ごしていただけるよう企画も工夫してまいります。同期の皆様で当支部の活動をご存じない方にもぜひお声掛けいただければ幸いです。

なお、当支部の運営は、昨年から、四十物前支部長はじめ前任の諸先輩方から引き継ぎ、下記の新たな役員メンバーで当たらせていただいております。

私たち現役員一同、活動が同窓の皆様と故郷北見・母校柏陽との懸け橋となるよう、首都圏で活躍されている、特に、若い人たちへの積極的な参加呼びかけなどを通じて当支部の持続的な発展につながるよう努めて参ります。

どうぞよろしくお願い致します。

報告および承認事項

活動報告

総会

懇親会

会計報告

収入の部

91万3574円

支出の部

75万8420円

次期繰越金

15万5154円

役員

支部長

椎名 孝典 (18期)

副支部長

小竹 利和 (20期)

若作

敏明 (20期)

古賀恵美子

(21期)

会計

飯淵 武雄 (18期)

会計監査

四十物治夫 (15期)

幹事長

高島 正志 (18期)

副幹事長

手塚 勝巳 (18期)

角田

丈志 (19期)

懇親会実行委員

18期 佐藤 秀行

19期

広瀬 雅巳

かしわ会東京支部の皆さん お元気ですか？

「2017年度かしわ会東京支部総会・懇親会」の開催にあたり、同窓会かしわ会会長、学校長、札幌かしわ会長からメッセージが寄せられました。ここに紹介します。

かしわ会東京支部総会に寄せて

北海道北見柏陽高等学校同窓会

かしわ会会長 升川 誠

昨年支部総会・懇親会は、故郷を遠く離れていればその想いと共に新しい役員の方々の意気込みが伝わる楽しい一時でありました。ありがとうございました。

左下の写真は北見駅から中央通り方面を写したものです。ツインタワー？の左側はホテルルートイン、右は北見信金本店です。世代にもよりますが、ラルズと駅前プラザHOW、さらに迎れば金市館と面白いというデパートの方がしっくりくる会員が多いのでは……

真ん中に小さく見えるNTTの紅白の電波塔だけは変わりません。昔は修学旅行も夜行列車で上野駅まで一日がかり、汽車を利用する度によく見た光景でした。その北見駅



も、石北線がJRによる単独では維持が困難な路線として揺れています。私も通運事業に身を置くものとしてこの問題にはしつかり取り組みつもりです。次に帰省される折には飛行機は千歳空港で降りて、JRに乗り換えると実際にこの光景がご覧になれます。札幌駅から石北線を利用しての情緒溢れる汽車旅はいかがですか。

柏の木のように太陽のように

北海道北見柏陽高等学校校長 新山 知邦

北海道教育庁石狩教育局

から異動してまいりました。長い歴史を持つ道内有数の伝統校に勤務できることを光栄に感じております。

また、異動して三ヶ月が過ぎ、一年次生の宿泊研修、高体連、学校祭と様々な行事等を通じて、本校生徒の優秀さや気質、本校の歴史や伝統に触れ、校長としての職責の重さを益々感じているところです。



四月、入学生は二三三名、全校生徒七〇二名でのスタートとなりました。五月、一年次生の宿泊研修は二泊三日川湯にて、高校三年間を見通し、進路意識を高めるための学習を中心に行われました。高体連支部予選では、男女合わせて一六種目が全道大会に進出するなど、どの生徒も最後まで諦めずに取り組み、たくましい身体と強靱な意志は本校の誇りであると改めて感じました。七月、第六十八回 柏陽祭、テーマを「KSKK」お金では買えない青春がここにある」とし、伝統ある行灯行列、その後の打ち上げ花火に多くの市民の皆さんから声援をいただきました。また、本年度は生徒会執行部の第七十代目を記念して、芸能人によるパフォーマンスとトークショーが企画されるなど、特に生徒会執行部の頑張りが

に感動しました。このような良き伝統を守るため、変化の激しい時代に対応しながら、一層魅力ある学校、卒業して改めて素晴らしいと思える学校づくりに努めてまいりたいと考えております。

結びになりますが、かしわ会の益々の御発展と皆様の御健勝を御祈念申し上げます。

札幌かしわ会順調に20年

札幌かしわ会会長 小中 真一

東京支部の皆さんお元気ですか。札幌かしわ会も元気にやっています。毎年秋に、総会・懇親会を開催して同窓の絆を深めています。各期の幹事さんを中心に集まっていますが、参加者の顔ぶれはいつも元氣な常連さんが多いようです。昨年は久しぶりに第一期の大先輩が参加して会場は大いに盛り上がりました。又、昨年からネームプレートの女性名を旧姓表示にしました。恩師が教え子を出しやすいか、同期生も名前がわかりやすいなどの理由での試みでした。今年は、卒業中学校名の表示とか高校時代の部活名表示なども検討中です。毎回、当番幹事や役員の皆さんでいろいろ考えて懇親会を盛り上げています。札幌かしわ会も、同窓生皆さんのご支援、ご協力で会の運営も順調に20年継続してきました。これからも新たな同窓生を加えながら長く続けていける様に各期の幹事、役員などで連携をとりながら、さらに前に進んでいきたいと思っています。尚、期によって幹事さんや参加者がいないところもありますが、今後は全期の参加を目標にして頑張りたいと思っていますので、これからも応援よろしく願います。東京支部の皆さん、いつまでもお元気で活躍下さい。

ふるさと便り 北見

昨年の井上久雄置戸町長（16期生）に続き、本年は現在北見地区選出の北海道議会議員として活躍されている塚本敏一様（19期生）からメッセージを寄せていただきました。ここに紹介します。

合併から11年 オホーツク圏の中核都市として

北海道議会議員 塚本敏一

柏陽高校を卒業してから48年、ほぼ半世紀、その当時のことが齢を重ねるごとに懐かしく思い出されます。

この間、私は大卒と同時に北見にUターン、市職員として約40年にわたり市政運営に携わり、その職務を遂行してまいりました。一昨年から北見地区選出の道議として、新たな負託の下、活動の機会を得て現在に至っております。こうして、北海道全体を俯瞰して考えなければならない立場に変わったわけですが、北見への思いは同じです。

さて、北見市は平成18年3月5日の端野、常呂および留辺蘂の近隣3町との合併により、はじめて海を抱える都市となっており、早や11年余り、今やオホーツク圏の中核都市として大きな変貌を遂げています。

この機会に、いわば「新生北見市」をいま一度概括、併せて最近の変化や取り組みを以下にかいつまんでご紹介します。

広さは、合併後1427.56km²と、市としては全道一、全国でも岐阜県高山市、静岡県浜松市などに次いで4番目となりました。人口は合併当時128,499人でしたが、地方都市における全国的な漸減傾向の例にもれず、H28年末時点で119,978人となっています。

旧端野町では、農業を中心とする1次産業の集積地として、玉ねぎをはじめ農産物の生産をさらに高める一方、子どもたちの教育環境を整えるため、平成22年に端野中学校、平成27年に端野小学校をそれぞれ移転改築されました。



端野小学校の新校舎

旧常呂町では、漁業と農業を中心とする1次産業の振興が図られ、ホタテ養殖事業のさらなる発展をめざし取り組んでいます。また、昭和55年に、北海道が推奨するカーリング競技にいち早く取り組み、皆さんもご存じのようにメッカとしてその名声を馳せ、平成25年には国際大会が開催できるカーリング場を建設、一層の振興が図られています。

森業と農業と温泉を中心に発展した旧留辺蘂町は、利用期を迎えたカラマツ、トドマツなどを有効活用する技術の普及に取り組み、欧州で、すでに導入建設されている直交修正板（CLT）技術による高層建築物の普及実現に向け先進的に取り組んでいます。また、温根湯温泉では、平成24年、山の水族館がリニューアルオープン、一年で約30万人余の来場者がありました。

旧北見市では、平成24年、市民スケートリンクが、これまでの東陵運動公園陸上競技場内から専用コースとして、中ノ島公園隣接地に建設されました。平成27年4月、市民温水プールが東陵運動公園敷地内から大通東7丁目の旧日清製粉北見工場跡地に完成しました。また、平成27年12月、市民待望の北見市立中央図書館が北見駅南側に移転新築されました。

平成19年9月、東急デパートの閉店後は北見市が中心市街地の商業機能を継続し、にぎわいを創出するため「まちきた大通ビル・パラゴ」として運営を続けています。一方で、合併後の新しい街の貌を創る都市再生事業が進んでおり、旧市庁舎があった場所に、平成27年、「北海道赤十字北見病院」が移転改築、その北側隣接地に道立北見病院も移転改築され、高度医療ゾーンとしての整備に弾みが付きました。また、長年の懸案でした北見市庁舎は、旧東急デパート西側隣接地に、本年末から建設工事に着手され、平成32年を目途に工事が進められることになっています。



決戦を待つレーン

以上、足早な説明となりましたが、目先に大きなイベントが控えています。それは本年9月8～10日に常呂カーリングホールで開催される、来年の「平昌オリンピック」への出場権をかけた女子カーリングの最終選考大会です。本橋麻里選手率いる、地元期待の「ロコソラーレ北見」が「中部電力」と戦います。ぜひ勝ち上がってオリンピックに出場して欲しいものです。皆さん応援に来てください。

各期の近況

25期 同期会と渡辺先生

今年の1月26日、柏陽で美術教師として教鞭をとられていた渡辺先生がお亡くなりになりました。先生は私たち25期卒業生が在学中の3年間担任を受け持たれていました。又、平成18年から25期札幌支部としての同期会を毎年開催しています。先生は口癖のように「あなたたちの同期会に出席することが元気の源だよ」と話されていたことが思い出されます。

さて、今年の同期会は渡辺先生の追悼の同期会となりました。今回は恩師2名のご出席を含め全35人の出席者での開催となりました。会の途中で過去の渡辺先生のスピーチの様子や写真を編集した映像が上映されましたがその中で渡辺先生がこんなことを話されている場面がありました。「段々歳をとってきて、いずれ僕は居なくなりますからね。今こうして皆さんと会って話すことが僕にとっての最高の宝物です」



札幌かしわ会 25 期同期会
平成 29 年 5 月 20 日 プリンスホテル 中島公園 札幌

一次会では渡辺先生を偲びかつ楽しい時間を過ごし、さらに二次会ではほとんどの出席者がそのまま会場へ移動してさらに盛り上がり、勢いのままに幾つかのグループに分かれたものの20人ほどが三次会に流れるという盛況ぶりです。今年の同期会を終えました。 元木一夫

在校生より ～ 陸上部 ～ 宗形連主将へのインタビュー

ークラブの特長/自慢できる点などを教えてください

宗形主将：「第一に、陸上部員は学年、男女に関係なく皆仲が良いことです。それが集中力やメリハリの効いた日々の練習にも繋がっているように思います。第二に、このような部内の雰囲気の中、初心者でも2年間も練習すれば全道大会に出場できるような力がつく部員が多いことです。これには、部員自身の目標設定や意欲的な取り組みの大切さは勿論ですが、練習環境を整えてくださる顧問の壬生先生（トラック）と高橋先生（投擲競技）のご尽力が欠かせません。また、両先生には競技の特性を踏まえたスキル向上、筋力トレーニング方法など、様々な面でいつも熱心にご指導をいただいております」

ークラブ、または主将として 2017 年の目標は何ですか？

「全員が全道大会に出場することで。我が校には、先輩が築き上げてきた、毎年全道大会に選手を送りこむ実績と伝統があります。この伝統を引き継ぎ、さらに発展させるよう部員一同

18期生 卒業50周年同期会

◇ 札幌に72名参集 ◇

私にとってそれは一本の電話から始まりました。

「北見柏陽高校卒業の福田ですが…」ゆっこから卒業50周年にあたり同期会を札幌で開催することになったので幹事を手伝ってもらえないか？との電話でした。

それから藤井君を中心に幹事グループ9名が何度も打ち合わせを重ねて会の手順やら役割の分担を決めていくと共にプランを何度も練り直して少しでもいい会にしようと準備を進めていきました。

なんと言っても50周年なので今まで一度も会う機会の無かった友もたくさんいます。

でも、今回は参加者の名札に卒業アルバムから各自の18歳の写真をプリントしてあります。当日の会場では写真と現物？を見比べてあまりの変貌ぶりに驚いたり、逆にほとんど変わらない仲間にもビックリ！！



でもどんなに見た目が変わっていても会えばあつという間に気分は18歳。あの頃の思い出話が尽きません。余談ですがその日札幌は30度を超える夏日にもかかわらずなんと！料理のメインは鍋料理。鍋の熱さに参加者の熱気が加わって会場はまるでサウナ状態でした。その日は二次会、三次会と心ゆくまで語り合い、翌日は早朝からゴルフ組、小樽方面への貸し切りバスでの観光組、自由行動と別れました。

2日目は北見組が宿泊する札幌のホテルの地下の居酒屋に再び30名余が集合して最後の盛り上がりで別れを惜しましました。この場には定山溪の会に参加できなかった札幌在住の友も何名か駆けつけてくれたのです。

今回は私達が70歳になる年に北見で「古稀の会」をしようという事になり鴨下君が快く？幹事長を買って出てくださいました。あと2年ならなんとかなりです。また元気で会えるのを楽しみに健康にだけは気をつけて過ごしましょう！

3年2組 亀井(朝田)友里枝

頑張ります。

また、普段の行動においても挨拶などの基本をしっかりするようにしたいと思います。また、柏陽高校は学校近くの東稜運動公園陸上競技場(800m位のところ)で練習をしています。近隣の学校に比べて恵まれた環境にあることにも感謝しなければなりません。オホーツク地域の大会でよい結果を残すことで、恩返しができればと思います。今後の活動を遠い東京で見守ってください」



編集後記
2017年版会報をお届けします。原稿をお寄せくださいましたみなさま、ありがとうございます。角田記